

みずほCustomer Desk Report 2017/06/08号(As of 2017/06/07)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	109.53 AUD/USD
TKY 9:00AM	109.50	1.1270	123.40	0.9626	1.2909	0.7511
SYD-NY High	109.89	1.1283	123.72	0.9676	1.2970	0.7568
SYD-NY Low	109.12	1.1204	122.64	0.9619	1.2888	0.7500
NY 5:00 PM	109.83	1.1254	123.65	0.9649	1.2960	0.7551
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	8.43/8.78		△25RR	1.383	Yen Call Over	
NY DOW	21,173.69	37.46	債券市場			
NASDAQ	6,297.38	22.32	日本2年債	-0.1120	3.0bp	
S&P	2,433.14	3.81	日本10年債	0.0470	0.5bp	
日経平均	19,984.62	4.72	米国2年債	1.3061	1.2bp	
TOPIX	1,597.09	0.65	米国5年債	1.7385	2.5bp	
シカゴ日経先物	20,010.00	45.00	米国10年債	2.1729	2.8bp	
ロンドンFT	7,478.62	▲46.33	独10年債	0.2690	1.7bp	
DAX	12,672.49	▲17.63	英10年債	1.0010	1.7bp	
ハンセン指数	25,974.16	▲22.98	豪10年債	2.3830	1.1bp	
上海総合	3,140.33	38.20	為替市況	USD/CNH	6.7742	0.0182
USDJPY 3M Vol	8.65	▲0.00%	ドルインデックス	ドルインデックス	96.75	0.11
USDJPY 6M Vol	9.40	0.03%	商品市況	CRB指数	175.611	▲2.47
EURJPY 3M Vol	9.12	0.06%		NY金	1,293.20	▲4.30
EURJPY 6M Vol	10.37	0.03%		WTI	45.72	▲2.47
				Dubai Spot	48.39	0.60

東京	ドル円は、109.50レベルで東京時間オープン。英国総選挙やECB理事会、コミー前米FRB議長議会証言といった目先の注目イベントを8日に控える中、動意の乏しい展開。午後に入ると、安寄りしていた日経平均株価が前日比プラス圏まで浮上して2万円台に乗せると、ドル円は東京時間高値109.63をつける。但し、更に一段と上値を迫っていく地合とはならず、109.50を中心としたレンジ推移が継続。結局、ドル円は109.43レベルで海外に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間前半のドル円は109円台前半から前半まで下落した後、反発する展開となった。朝方は109.43レベルでオープン。全般的な円買いを背景に109円台前半まで下落したものの、ECBのインフレ見通しの下方修正に関連するヘッドラインをきっかけにユーロが急落。これを受けてドル買い優勢となり、ドル円は109円台前半まで反発し、109.45レベルでNYへ渡った。ユーロは1.1266レベルでオープン。序盤は小動きとなったものの、関係筋の話としてECBが2017年から2019年までのCPI見通しをそれぞれ1.5%近くまで下方修正する見込みとの報道を受け、ユーロは1.1204の安値まで急落し、1.1216レベルでNYへ渡った。ホントドルは8日に英国総選挙を控える中、1.29ちょうどを挟んで小動きとなった。朝方は1.2906レベルでオープンし、1.2909レベルでNYへ渡った。(ロンドン・トルリー 日比野00531 444 179)
ニューヨーク	ドル円は109.46レベルでNYオープン。「日銀が景気判断引き上げを検討、来週にも決定」とのヘッドラインを受け、109.50レベルから109.30まで急落したが、日経平均先物が上昇すると109.67まで回復。しかし、EIA在庫統計で原油在庫が予想に反して大幅増となりWTI原油が約4週間ぶり安値まで急落したことで、ドル円は安値109.23まで下落。その後、米金利が堅調な動きとなったことから、ドル円も連れ高となった。尚、北朝鮮がミサイルを発射する可能性との報道が伝わったが影響は限定的だった。午後に入り、コミー前FBI長官が8日に行われる上院情報委員会での証言を書面で事前提出したが、目新しさに欠ける内容であったことから、ドル円は109.70付近のストップを巻き込みながら109.89まで上昇。コミー前FBI長官議会証言、ECB理事会、英選挙などのビッグイベントを8日に控え、終盤は109.80付近での小幅推移となり、109.83レベルでクロスした。一方ユーロは「ECBは「モテティ」価格の下落の影響でインフレ見通しを下方修正する可能性がある」とのヘッドラインを受けて海外時間に安値1.1204まで急落したが、この水準では下げ渋り1.1216レベルでNYオープン。「ECBによる見通しの修正は小規模」とのヘッドラインが伝わったことから、高値1.1283まで急反発。その後、米金利上昇を受けて1.1224まで下落する場面も見られたが、起債に関連して独金利が上昇する動きを横目に1.12台後半まで回復し、1.1254レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 下山・坂本

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月7日	10:30	豪 GDP(季調済・前期比/前年比)	1Q 0.3%/1.7%	0.3%/1.6%
	15:00	独 製造業受注(前月比/前年比)	4月 -2.1%/3.5%	-0.3%/4.7%
	20:00	米 MBA住宅ローン申請指数	-	7.1%

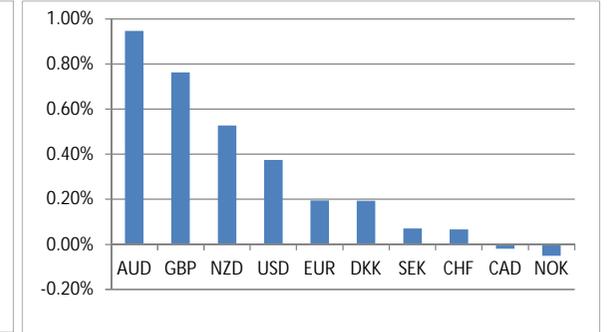
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月8日	8:50	日 GDP(季調済・前期比/前期比年率)・確報	1Q 0.6%/2.4%	0.5%/2.2%
	8:50	日 経常収支/貿易収支	4月 ¥1,698.8B/¥494.0B	¥2,907.7B/¥865.5B
-	-	中 貿易収支	5月 \$47.80B	\$38.03B
-	-	中 輸出/輸入(前年比)	5月 7.2%/8.3%	8.0%/11.9%
15:00	独 鉱工業生産(前月比/前年比)	4月 0.5%/2.1%	-0.4%/1.9%	
18:00	欧 GDP(前期比/前年比)・確報	1Q 0.5%/1.7%	0.5%/1.7%	
20:45	欧 ECB主要政策金利	-	0.000%	0.000%
21:30	欧 ドラギECB総裁 記者会見	-	-	-
21:30	米 新規失業保険申請件数	-	240K	248K
23:00	米 コミー前米FRB長官 議会証言	-	-	-
-	-	英 国政選挙	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	109.00-110.50	1.1200-1.1300	123.00-124.50

【マーケットインプレッション】

昨日海外時間のドル円は、一旦下押しした後109円台前半ではサポートされ、本日の議会証言を前に公表されたコミー前FBI長官の冒頭陳述の原稿が目新しい材料がなかったことがむしろリスクオンの的に評価され、米長期債利回りの上昇とともにドル円も連れ高となった。本日は、ECB理事会、コミー前FBI長官の議会証言、英下院選挙(但し、開票は日本時間明日)などイベント目白押し。海外時間はこれらの結果次第だろうが、アジア時間は様子見ムードの強い、小幅な値動きに終始しそうだ。